

9

SEPTEMBER
2014



こ

が

古河

広
報

No.108

今月の主な内容

- 古河花火大会 2
- 夏のイベントカメラポ 4
- 認知症を知る月間 6
- 自殺予防対策 8



古河花火大会

打ち上げ総数2万発 迫力の花火ショー

これが3尺玉だ(午前11時30分ごろ)



3尺玉は直径90センチ、重さ約200キロ。クレーンで吊り上げ筒に玉を込めました。高さ600メートルまで上がるため、筒も驚くほど大きいですね。



打ち上げ現場を確認(午後4時ごろ)



警察・消防の立ち合いのもと、打ち上げ現場で筒の傾斜や風速など、入念なチェックを行います。

会場は次第に闇に包まれ
時を待つ(午後6時30分ごろ)





関東最大規模を誇る古河花火大会。今年も8月2日に渡良瀬川河川敷で開催され、3尺玉・3発を含む2万発の花火が夏の夜空を彩りました。花火と音楽が共演するスターマイン、ハートやアニメのキャラクターをかたどった花火、全国の花火師から送られた5号玉・10号玉が次々と打ち上げられ、会場を埋めつくした観客からは大きな歓声が上がりました。約55万人が夜空に咲いた大輪の花火に感動した今年の花火。大会の裏側も少し紹介しましょう。

いよいよスタート。打ち上げカウントダウン(午後7時20分ごろ)



市長と一緒にカウントダウン。いよいよ1時間半にわたる花火ショーの開幕です。

一夜明け。花火後の清掃に市民2,400人が参加(午前6時ごろ)



早朝6時から、会場のゴルフリンクス周辺に落ちた花火玉の破片や土手周辺にポイ捨てされたゴミを、皆さんの協力で清掃いただきました。ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました

「第9回古河花火大会」が8月2日、無事終了しました。当大会へご協賛いただきました企業・団体ならびに個人の皆さま、さらに大会準備・当日の交通規制にご協力いただきました警察署をはじめ住民の皆さま、関係各位に厚く御礼申し上げます。

古河花火大会実行委員会





1



3



2

悪戸新田獅子舞

祭りの夏と古河の夏



4



写真で振り返る
2014夏のイベント



5

夢あんどんと夕涼み



6



7



8



高校女子ソフトボール フェスティバル

11



9



10

悪疫の退散などを祈って行われる悪戸新田獅子舞。7月27日、市内各所を巡りました。子どもたちが獅子頭をかぶり、太鼓を打ち鳴らしながら笛にあわせて3匹で軽やかに舞い踊りました。市の指定無形民俗文化財となっている伝統行事を、大人から子どもたちへ大切に守り伝えています。

【写真 ①～③】

8月13日～15日の3日間、「第27回古河市全国高校招待女子ソフトボールフェスティバル」が上大野グラウンドで開催されました。この大会は毎年8月中旬に行われ、今年は1都9県の有力校16チームが参加。市内からは古河第二高等学校が出場しました。選手たちは気温30度を超える暑さの中、連日熱戦を繰り広げました。

【写真 ⑦～⑪】

古河の夏の風物詩「夢あんどんと夕涼み」。今年も8月14日・15日の2日間、古河歴史博物館と古河文学館を会場に開催されました。辺りが暗くなると、幻想的な雰囲気醸し出す約800基のあんどんの灯。今年は古河市出身の女性能楽師・久貫弘能さんらによる能の演奏と舞の披露が行われ、訪れた人たちを楽しませました。

【写真 ④～⑥】

今年で58回目を迎えた「古河盆踊り大会」が8月14日・15日の2日間、古河第四小学校の校庭で行われました。参加者はお囃子団体による古河甚句などの生演奏に合わせて、古河城をしのばせる大きな櫓のまわりに二重・三重の輪をつくりました。これからも古河の夏の風物詩として続けていきたい伝統行事の一つです。

【写真 ⑫～⑮】



12



13



14



古河盆踊り大会

15

～地域で支えよう～ 認知症の人とその家族

9月21日は「世界アルツハイマーデー」です。

茨城県では、平成18年度から毎年9月を「茨城県認知症を知る月間」と定め、県民誰もが認知症について正しく理解し、認知症高齢者やその家族が安心して生活できる地域づくりを目指しています。

また市では、認知症になっても安心して暮らせる地域をつくるために、認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守り支援する応援者を養成する「認知症サポーター養成講座」を開催しています。

【問】地域包括支援センター（総和福祉センター「健康の駅」内）
☎92-5920



オレンジリング

認知症の人やその家族への応援者
「認知症サポーター」の証し



認知症について 正しく理解しましょう

「認知症」と聞いて、「まだ自分には関係ない話」と思う人がいるかもしれません。しかし、認知症は誰にでも起こる可能性のある脳の病気です。

85歳以上では4人に1人に、その症状があるといわれています。

認知症の症状の一例

- ・記憶障害
- ・日常生活の支障
- ・睡眠障害
- ・物盗られ妄想
- ・暴言、暴力行為

このようにさまざまな症状があらわれることがあり、「高齢者虐待」や「徘徊」の要因となる場合もあります。

高齢者虐待

認知症による言動の混乱や身体的自立度の低さなどが虐待の要因となることがあります。

そうした虐待をしている人の中でも「虐待をしている」という自覚が無く、虐待にあたる行為をしている場合もあります。

- 気づかずに相手を傷つけていることはありませんか？
- 身近に助けを求めている高齢者はいませんか？

このようなことが高齢者虐待です

- 身体的虐待
- 介護・世話の放棄・放任
- 心理的虐待
- 性的虐待
- 経済的虐待

虐待に気づいたときには、すみやかに市町村に通報する義務があります。また、虐待が疑われるときにも、早めの相談が重要です。

早期発見・報告で虐待を防ぎましょう。

【連絡】地域包括支援センター（総和福祉センター「健康の駅」内）☎92-5920

徘徊

自宅や入所している施設等を出て、あてもなくずっと歩き回るような行動のことを「徘徊」といいます。

介護者である家族等が周辺をいくら探しても見つからず、考えもしないほど遠くまで行ってしまい警察に保護される例も多くみられます。

このような予防が必要とされます

■家族の対応

- 1 普段から衣服に住所や氏名を縫い付けたり、お守りに名札を入れたりしておく。
- 2 ご近所や知り合いに、事情を話しておき、いざというときには協力してもらうようにする。
- 3 徘徊する認知症の人を探索するシステムを活用する。



徘徊高齢者家族支援サービス

徘徊が心配な家族の人に徘徊探知システム端末機の貸し出しを行っています。ぜひご利用ください。

対象 認知症の高齢者を在宅で介護している家族

利用料 月額500円(端末機の紛失・破損による交換および通話料金は全額自己負担となります)

申請・問 高齢福祉課(総和福祉センター「健康の駅」内) ☎92-5838



手と手を取り合い、
誰もが安心して暮らせる
古河市へ

徘徊かな？と思ったら

徘徊高齢者を発見した場合は、地域包括支援センター、古河警察署または最寄りの交番・駐在所へご連絡ください。

●地域包括支援センター ☎92-5920

地域の総合相談窓口、在宅介護支援センターにご相談ください

在宅介護支援センターは、市が委託している「高齢者やその家族等の身近な相談窓口」です。24時間365日相談可能です。介護保険や高齢福祉サービス、認知症のことなど何でもご相談ください。※お住まいの地区ごとに担当区域が分かれています。詳しくは地域包括支援センター(☎92-5920)へ問い合わせください。

○愛光園(新久田250-4 ☎48-6944)

○平成園(旭町1-17-39 ☎31-3737)

○わたらせ(大山507-5 ☎47-0161)

○青嵐荘(東牛谷456-6 ☎98-0030)

○白英荘(小堤1796-2 ☎98-6218)

○バックアップ[総和中央病院]

(駒羽根825-1 ☎91-1256)

○みどりの里(東山田4796-2 ☎78-1123)

○秋明館(諸川2530-4 ☎77-3751)

いま、いのちを守る アクションを

9月10日～16日は自殺予防週間です

自殺は特別な人だけの問題ではありません。誰でも自殺に追い込まれる可能性があります。

9月10日から16日は自殺予防週間です。大切な人が「自殺」まで追い込まれることのないように、「いま」私たちにできることは何か、家族や周囲の人と話し合ってみませんか。

【問】 福祉総務課(総和福祉センター「健康の駅」内)
☎92-5771

全国の自殺の現状

全国の自殺者数は平成10年以降、14年連続で3万人を超える状態が続いていました。平成24年に15年ぶりに3万人を下回り、平成25年は2万7,283人でした。3万人を下回ったとはいえ、毎日約75人が自ら命を絶っていることとなります。全国の自殺率(人口10万人あたりの自殺者数)は平成25年が21.4であり、主要先進国の中では突出して高い値となっています。



自殺について知っておいていただきたいこと

①自殺は追い込まれた末の死である

自殺は、自ら望んだ覚悟の死と思われがちですが、実際はさまざまな悩みが原因で心理的に追い詰められ、自殺以外の選択肢が考えられない状態で起こっています。また、自殺者の多くが自殺直前にうつ病などの精神疾患に罹患していることが明らかになっています。

②自殺は防ぐことができる

WHO(世界保健機関)が「自殺は防ぐことのできる社会的な問題」であると明言しているように、自殺は社会の努力で避けることのできる死であるというのが、世界の共通認識となりつつあります。

③自殺を考えている人は何らかのサインを発している

「死にたい」と考えている人も、心の中では「生きたい」という気持ちとの間で激しく揺れ動いており、不眠や原因不明の体調不良など自殺の危険を示すサインを発しています。

自殺を図った人の家族や職場の同僚などは、このサインに気づいていることも多く、国民一人ひとりの気づきを自殺予防につなげていくことが必要です。

かけがえのない「いのち」を守るために



こころの体温計を試してみませんか

市では、広く市民のみなさんに「こころの健康」に関心をもってもらいたいことと、うつ病などの早期発見・早期治療を推進するため、メンタルチェックシステム「こころの体温計」を市公式ホームページに掲載しています。

ご自身またはご家族のストレスや心の健康状態を、パソコンや携帯電話で簡単にチェックすることができます。お気軽にご利用ください。

こころの体温計 (メンタルヘルス) **ストレス度・落ちこみ度などをチェック!**

最近、眠れない、いつもイライラする……。そんな心のストレス度や落ちこみ度が「こころの体温計」で簡単にチェックできます。

だめしてみませんか?

パソコンはこちらからご利用いただけます。 <https://fishbowlindex.jp/koga/>

こころの体温計 (本人モード)
 ご自身のストレス度・落ちこみ度が分かります。ご本人の健康状態や人間関係、住環境などのストレス度や落ちこみ度が、水槽の中で泳ぐ金魚などの絵によって表示されます。

家族モード
 大切な方の心の健康状態をご家族や、身近にいる方の目でチェックします。

赤ちゃんママモード
 赤ちゃんのいるお母さんの心の健康状態をチェックします。

アルコールチェックモード
 飲酒が心にかかるような影響を与えているの分かります。

ストレス対策タイプテスト
 あなたのストレス解消法はどのタイプ?

猫 社会的なストレス
 水櫃のヒビ 住環境のストレス
 黒金魚 対人関係のストレス
 赤金魚 自分自身のストレス
 水の透明度 落ちこみ度
 石 その他のストレス

本人モード 結果画面 (例)

ご相談はこちらへ

■いのちの電話・こころのホットライン (生きていくことに自信をなくしたとき)

茨城いのちの電話	つくば ☎029-855-1000 (24時間対応)
	水戸 ☎029-350-1000 (午後1時～8時)
	毎月10日はフリーダイヤル(朝8時から24時間) ☎0120-738-556
いばらきこころのホットライン	☎029-244-0556 (平日：午前9時～正午、午後1時～4時)
	土曜日・日曜日はフリーダイヤル(午前9時～正午、午後1時～4時) ☎0120-236-556

■古河市の相談窓口

福祉総務課 (福祉の相談)	☎92-5771
健康づくり課 (健康の相談)	☎48-6883
消費生活センター (多重債務の相談)	☎92-8811

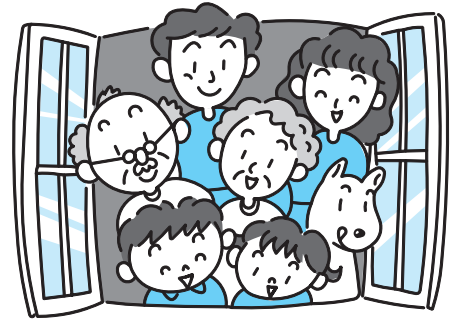
悪徳商法にご注意を！

高齢者を狙った悪質な商法が横行しています。お年寄りは自宅に多い
ため、訪問販売や電話勧誘販売による被害に遭いやすいのが実情です。

平成25年度、古河市消費生活センターに寄せられた相談は818件。うち、65歳以上の高齢者が関わっている事例が約30% (235件)を占めました。

高齢者の悪徳商法被害が後を絶ちません。古河市消費生活センターでは、ご相談の他に疑問な点や問い合わせにもお答えしますので、ご活用ください。

【問】 商工政策課(総和第2庁舎) ☎92-3111



◆◆◆「古河市消費生活センター」に寄せられた相談事例 ◆◆◆

相談事例の一部を紹介しますので、被害を未然に防ぐ参考にしてください。

相談① 訪問販売(物干し竿)

「物干し竿が2本で1,000円」とスピーカーで流しながら、トラックで販売している業者を呼び止め具体的な値段を聞こうとした。しかし、値段の返答はなく、勝手に物干し竿をカットされ、1本2万6,000円と請求された。お金がないと答えたが、もう切ってしまったから払えと言われた。仕方なく払ったが領収書はもらえなかった。

●センターからのアドバイス

このような事例は、領収書や契約書を渡してくれないことが多いです。

本来であれば訪問販売なので「クーリング・オフ」が可能ですが、領収書や契約書を受け取っていないので相手の業者名や住所が分からず何もできません。

購入前に商品や金額をよく確認することが大切です。また、業者名や連絡先が明記された契約書や領収書を必ず受け取りましょう。



相談② 訪問販売(屋根瓦工事)

「2,000円で雨どいを掃除します」と業者が自宅を訪れた。清掃してもらい料金を払ったが、契約書や領収書はもらわなかった。昨日、再び業者が訪れ「掃除のとき、瓦が壊れているのを見つけたので修理工事をしましょうか」と言われた。契約書を交わして工事を頼んだが、300万円と高額なので止めたい。

●センターからのアドバイス

訪問販売なので、無条件で解約できる「クーリング・オフ」ができます。業者宛てにクーリング・オフのはがきを出しましょう。

訪問販売や電話勧誘販売で契約した場合は、クーリング・オフの説明書を受け取った日から8日以内なら無条件で解約ができます。はがきの書き方は、古河市消費生活センターまで問い合わせください。



▲悪徳業者は狙っています

◎この他にも、古河市消費生活センターに寄せられた相談事例を市公式ホームページで公開しています。ぜひ、ご覧ください。

出前講座を受け付けています

「私はダマされない！」

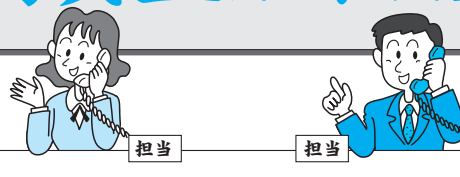
～消費者被害に遭わないために～

古河市消費生活センターでは、皆さんの要望により出前講座を開催しています。年々巧妙化している手口やトラブルの回避ポイントを分かりやすく伝授！ぜひ、ご利用ください。講師の費用は無料です。



▲4月に開催した出前講座の様子

消費生活相談



古河市消費生活センターでは、さまざまな消費者トラブルの相談を受け付けています。「おかしいな？」と不審に感じたら、ご相談ください。相談は無料です。

場所 市役所総和第2庁舎3階(商工政策課内)

相談日 月曜日～金曜日

受付時間 午前9時～正午、午後1時～4時

電話番号 ☎92-8811

9月
「がん征圧月間」
です

がんは日本人の死因の第1位です。国民の2人に1人ががんにかかり、3人に1人ががんで亡くなっています。

一方で、がんは生活習慣病・生活環境の見直しにより予防できることがわかってきました。食生活、運動、喫煙、飲酒、休養などの生活習慣を見直して、がんを予防するとともに、定期的ながん検診を受けることが大切です。積極的にがん検診を受けましょう。

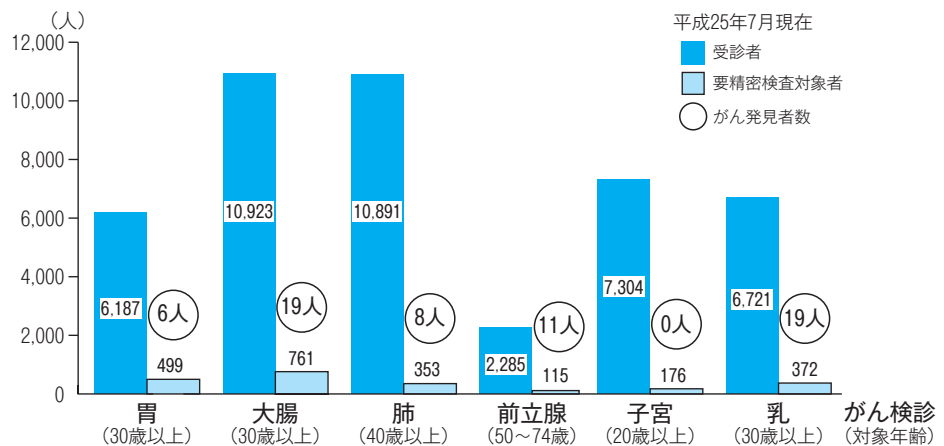
【問】健康づくり課(古河福祉の森会館内) ☎48-6882

古河市のがん検診の状況
～毎年受けて、早期発見～

市では、健康の保持増進、がんの早期発見・早期治療のために、胃・大腸・肺・前立腺・子宮・乳がん検診を実施しています。年に1回は検診を受け、精密検査の場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

初めて検診を希望する人は、健康づくり課へ問い合わせください。

▼平成25年度 古河市がん検診結果



がんを防ぐための『新』12カ条
～あなたのライフスタイルをチェック
今日からチェンジ!～

- 1条 たばこは吸わない
- 2条 他人のたばこの煙をできるだけ避ける
- 3条 お酒はほどほどに
- 4条 バランスのとれた食生活を
- 5条 塩辛い食品は控えめに
- 6条 野菜や果物は豊富に
- 7条 適度に運動
- 8条 適切な体重維持
- 9条 ウイルスや細菌の感染予防と治療
- 10条 定期的ながん検診を
- 11条 身体の異常に気がいたら、すぐに受診を
- 12条 正しいがん情報でがんを知ることから

がん予防講演会を行います
～ご自身やご家族の健康について
考えてみましょう～

日時 9月4日(木)午後1時30分～3時
場所 古河福祉の森会館
演題 さまざまながんとその検診の受け方
講師 赤荻榮一医師(古河福祉の森診療所長)

がんは検診によって、早期発見・早期治療をすれば完治する時代です。この機会に正しい知識を学びましょう。



生涯学習 指導者バンク制度を ご利用ください

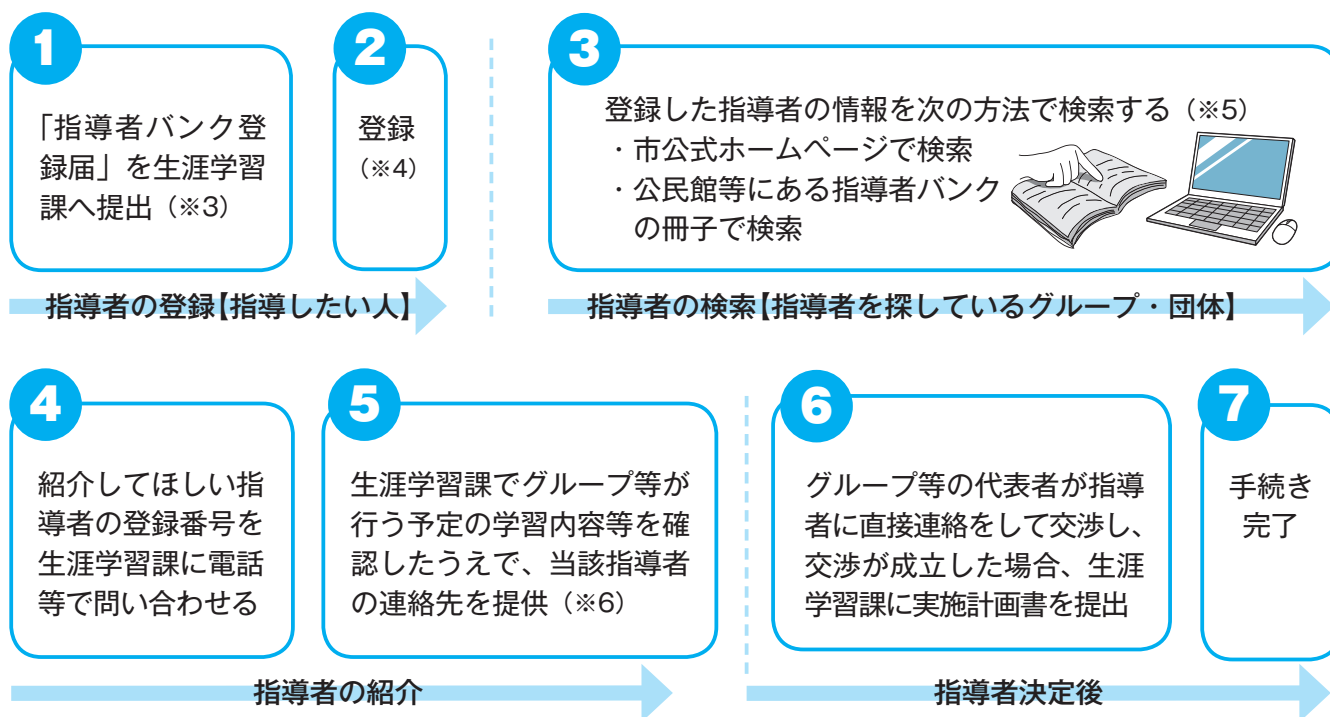
『生涯学習指導者バンク制度』は「自分の持っている知識・技術を、誰かに教えてあげたい」という人に登録をしていただき、生涯学習活動^{※1}を希望する市内のグループ・団体^{※2}(個人を除く)に指導者の情報を提供するものです。

【問】生涯学習課(古河庁舎) ☎22-5111



▲市主催の講座でも多くの指導者が活躍(写真は7月31日、中高生・乳幼児ふれあい交流事業でベビーマッサージを指導する柳田真美先生)

生涯学習指導者バンク制度手続きの流れ



(※1) 「生涯学習活動」とは、政治、宗教または営利に関する活動を除いた学習活動です。

(※2) 「グループ・団体」とは、政治、宗教または営利活動を主たる目的としていない市内で活動しているグループ・団体です。

(※3) 指導者の登録は、生涯学習課で随時行っています。登録の際に必要な「生涯学習指導者バンク登録届」と「個人情報提供の同意書」の書類は、市公式ホームページからダウンロードできます(生涯学習課の窓口でも配布しています)。

(※4) 指導者の登録は、20歳以上で政治、宗教または営利活動を目的としない人に限ります。

(※5) 検索できる指導者の登録情報の内容は、登録した指導者全員に番号を付け、氏名・住所・電話番号を除いた指導内容等の登録情報です。

(※6) 指導者登録をしても利用者から指導依頼がかからない場合もあります。あらかじめご了承ください。



救急医療情報カプセル 「伝言くん」を 無料で配布しています

市では、高齢者等が自宅で具合が悪くなり、救急車が必要な「もしも」のときのために、安心を確保する取り組みを行っています。

【問】 高齢福祉課(総和福祉センター「健康の駅」内)
☎92-5838

救急医療情報カプセル(愛称:「伝言くん」)とは

救急車を呼び、救急活動に必要な情報を記載した救急医療情報シート(病名や病院名、お薬の情報等を記入した用紙)などを入れられるカプセルが「伝言くん」です。緊急時、一番見つけやすい冷蔵庫の中に保管することで、救急隊や医療機関の迅速な救急活動に役立ちます。

また、緊急連絡先を記入することで、親族へすみやかに連絡し、協力を得ることが可能となります。

※救急活動により、カプセルを活用しない場合もあります。

【配布対象】

市内に住所を有し、次のいずれかに該当する人に配布します。

- ①ひとり暮らしの65歳以上の人
- ②65歳以上の高齢者世帯の人
- ③日中にひとりとなる65歳以上の人で、健康上不安を有する人
- ④身体障害者手帳1級・2級・3級(内部障害のある人)の人、療育手帳④・Aの人、精神障害者保健福祉手帳1級の人

【受取方法】

次の窓口にある申込書を記入し、カプセルを受け取ってください。

- ・高齢福祉課
(総和福祉センター「健康の駅」内)
- ・市民サービス課(総和庁舎)
- ・市民サービス室(古河庁舎・三和庁舎)

カプセルに入れるもの

- ①救急医療情報シート
- ②診察券のコピー
- ③健康保険証のコピー
- ④薬剤情報提供書のコピー
- ⑤ご本人の写真

※②～⑤はご本人が可能な範囲で用意してください。

情報更新の お願い

「伝言くん」を お持ちのみなさんへ

救急医療情報シートの内容に変更がありましたら、新しい情報にしましょう。

■更新のしかた

- ①カプセル内の救急医療情報シートに、変更になった情報を書き直す。
- ②書き直しができなくなった場合は、新しい救急医療情報シートに書き直す。

■新しい救急医療情報シートは左記の受取方法で入手してください。

宝くじのコミュニティ 助成金を活用

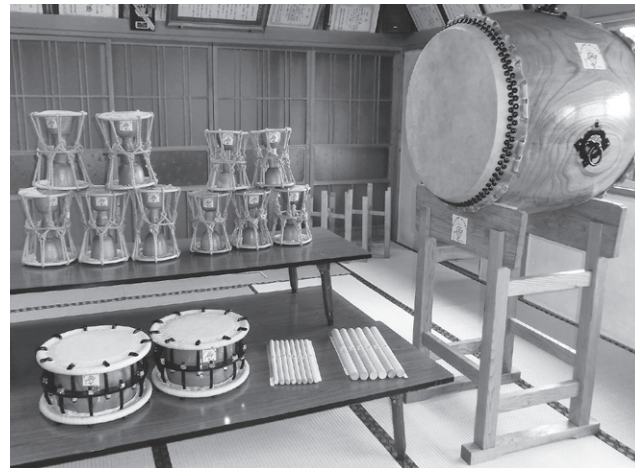


大和田下行政区が宝くじの助成を受けて、祭りに使用する宮太鼓や鼓などを購入しました。

この助成は、宝くじの社会貢献広報事業の一環として(一財)自治総合センターが行っているもので、コミュニティ活動に必要な備品を整備することによって、コミュニティ活動の促進と発展を図ることを目的にしています。

同行政区には、江戸時代が発祥とされる祇園囃子があり、今回、長年の使用により老朽化し使用が難しくなった太鼓や鼓をこの助成を受けて新調しました。

新しい太鼓や鼓を用いてこれまで以上に祭りを盛り上げ、地域全体の活性化はもとより伝統芸能の末永い継承につなげていこうと行政区の皆さんは張り切っています。



▲宮太鼓(二尺檣)、鼓(大・小)などを整備しました

全国大会出場

【第54回全国中学校水泳競技大会】

○古河第一中学校

- ・個人男子200mバタフライ：矢吹馨さん
- ・個人女子100m、200m背泳ぎ
五十畑彩花さん
- ・女子400mメドレーリレー
五十畑彩花さん、竹内彩夏さん
黒澤萌木さん、小泉瞳さん
- ・女子400mフリーリレー：小泉瞳さん、
五十畑彩花さん、稲垣優さん、黒澤萌木さん

【第44回全国中学校剣道大会】

○総和中学校

- ・女子団体：中野佑美さん、落合ひかりさん、
池田陽香さん、東海林まどかさん、小野澤女美
さん、松村彩衣里さん、平田瑠菜さん

【第41回全日本中学校陸上競技選手権大会】

○総和南中学校

- ・男子棒高跳：直井一樹さん
- 三和中学校
- ・男子800m：高山裕樹さん

【第11回全国小学生学年別柔道大会】

- ・小学6年生男子50kg級の部
遠藤尊さん(総和柔道クラブスポーツ少年団)

【第16回全日本選抜還暦軟式野球大会】

古河わたらせクラブ

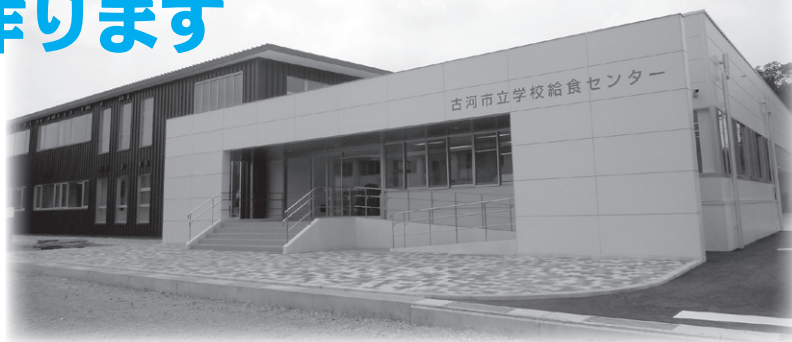
【第32回全日本バウンドテニス選手権大会】

- ・ミドル女子シングルス
檜山昌枝さん(古河市バウンドテニス協会)

【第33回全日本クラブ卓球選手権大会】

- ・(団体戦)男子小・中学生の部
SPCジュニア

安全安心な おいしい給食を作ります



学校給食センターが完成 9月1日から稼働

8月8日、学校給食センターの完成式が行われました。式典には国・県・市議会議員をはじめ地権者や工事関係者、市内学校長など約85人が出席。菅谷市長は「栄養バランスの取れた食事は、健康な心身を育むために欠かせません。将来を担う児童・生徒に、安全安心でおいしい学校給食を提供していきたい」とあいさつしました。

新センターは9月1日から稼働。市内27校(小学校17校、中学校9校、中等教育学校1校)・約1万食を毎日作ります。

※広報古河10月号で新施設を詳しく紹介する予定です。

【問】学校給食センター(関戸1014-1)
TEL98-3555



▲1日あたり最大1万2,000食を供給できる
県内最大の給食センターとなりました



今も昔も、学校生活の楽しみの一つだった「学校給食」。新センターの完成に伴い、市内3カ所の共同給食施設は一学期終業式の7月18日で業務を終えました。

小・中学校9年間慣れ親しむ給食の味は、思い出の味。長いあいだ、おいしい給食をありがとうございました。

古河学校給食共同調理場

昭和44(1969)年8月に建設。同年9月からこの施設での給食を開始しました。



長いあいだ
ありがとう

総和学校給食センター

昭和58(1983)年8月に建設。同年9月からこの施設での給食を開始しました。



三和学校給食センター

昭和44(1969)年2月に建設。同年4月からこの施設での給食を開始しました。



注目!

まちの話題

……人権教育講演会
差別や偏見のない社会を……

8月8日、とねミドリ館(生涯学習センター総和)で、古河市人権教育講演会が開催されました。講師の平沢保治さんは14歳の時にハンセン病と診断され、国立療養所・多磨全生園に入園しました。

当時ハンセン病は恐ろしい伝染病と考えられていたため、患者は強制隔離され、差別が生まれました。ハンセン病が完治する病となった現在も、世の中に残る差別。「おんねん怨念で返すのではなく、ゆる赦す心を」、「子どもたちには命を粗末にせず、夢と希望を持って生きてほしい。『ありがとう』と言える人になってほしい」。700人を超える参加者に、平沢さんは力強い言葉で語りかけました。



▲力強い言葉で参加者に語りかける平沢さん(左)

……お父さんたちが大活躍
キャンプで暑い夏を満喫……



▲流しそうめんは子どもたちに大好評

7月26日～27日、古河第四小学校で夏休み恒例のスクールキャンプが行われました。同校父親委員会「グッドダディズ」が主催で今年15回目を迎えたこの催しには、児童86人が参加。保護者55人が協力し、肝だめしやプールでの水上運動会、流しそうめんやバーベキューなど、楽しい企画を用意しました。

代表の鈴木敬教さんは「準備は大変でしたが、子どもたちの笑顔を見ることができたので満足です」と、気温36度を超える猛暑の中、汗をぬぐいながら話をしてくれました。

……非核平和パネル展
～戦争の悲劇を二度と繰り返さない～……



▲戦争の記憶を次の世代にも伝えていきましょう

終戦から今年で69年。古河市非核平和都市推進委員会が7月23日から8月18日まで、市内公共施設3カ所で「非核平和パネル展」を開催しました。

会場には広島・長崎の原爆写真のほか、市内の戦時中の写真、当時の物品などが展示され、核兵器の恐ろしさ・戦争の悲惨さを伝えていました。二度と繰り返してはならない戦争の記憶について振り返るとともに、平和の尊さを再確認する機会として、幅広い世代の市民が来場しました。



「3.11の教訓を次につなげる」

米田 佳乃子さん (21歳・中田)

47都道府県の学生がバスで東日本大震災により甚大な被害を受けた岩手・宮城・福島^{こめだかのこ}の東北3県に行き、ボランティア活動や交流を通じて震災を知り、防災について学ぶ『きっかけバス47』(公益社団法人「助けあいジャパン」主催)。

茨城県のリーダーとして、2月20日から23日まで現地で活動した米田佳乃子さんに、被災地への思いや、今後その経験をどう生かそうと考えているのかをお聞きしました。

東北へ元気を届けたい

平成23年3月11日に発生した東日本大震災。高校3年生だった米田さんは、卒業式を終え、大学入学前の期間を利用して福島県の祖母の家に滞在していたときでした。祖母の家は会津若松市にあり、沿岸部ではなかったものの、震災の影響で交通機関がまひし、すぐには帰宅できない不安な日々を過ごしました。

その後、大学に進学。徐々に震災について関心が薄れてきたある日、毎朝母親が聞いているラジオ番組が『きっかけバス47』を取り上げていたのを耳にしました。

「復興にはまだまだ人の手が足りない。学生だからできることもあるはず。被災地に元気を届けるとともに、現地で学んだことを今後、地域の防災に役立てたい」と、このプロジェクトへの参加を決意しました。

風化させない 次の学生へバトンをつなぐ

2月20日から23日の3泊4日(うち1泊は車中泊)の日程で34人が参加した『きっかけバスいばらき』。

岩手県・陸前高田市では、土砂から遺骨や髪の毛など遺留品を捜索するボランティア作業を行いました。泥をザルに入れ、水で流す根気のいる作業。出てきたのはガラスや陶器の破片などが中心でした。

また、陸前高田市の語り部^{かたべ}・釘子明さん^{くぎこあきら}や南三陸町の商店街の人たちから、震災時の避



▲「きっかけバスの事業PRや募金活動など、貴重な経験ができた」と話す米田さん

難所の様子や震災後の活動について話を聞きました。津波の被害を学ぶ地域、放射能の影響を学ぶ地域、被災地でさまざまなことを仲間と一緒に学んできました。

米田さんは「たくさんの人たちに支援していただき、同世代の34人が東日本大震災について考える機会を得ました。今回の『きっかけバスいばらき』で見て、感じて、知った多くのことを伝えていくことが、私たちのやるべきことだと思っています」と力強く話してくれました。

すでに『きっかけバス47』第2弾のプロジェクトがスタートし、米田さんは次の学生へバトンをつなぐ活動をしています。「一人ひとりの『きっかけ』が被災地を元気にします。学生のみなさん、参加してみませんか？」。



▲参加メンバー34人と一緒に(最前列左から5番目が米田さん)

▶陸前高田市でのボランティア活動(遺留品捜索)



図書館のオススメ

◇児童書

・メリンダハウスは魔法がいっぱい

名木田 恵子 作
横断歩道が虹色のピアノになったり、信号機が三色のおだんごになったり……。 「メリンダハウス」のおばあさんたちが、おむかひにひっこしてきてから、みゆのまわりでは不思議なことがいっぱい起きて……。

出版社…WAVE出版
分類…913ナ



◇絵本

・ろうそくん

ひがし もえこ 作
マッチを背負って、ろうそくんが旅に出ます。絵描きのおじいさん、ミツバチの子ども、お化け……。旅の出会い、みんな

の心の明るい^{ともしび}灯火になりました。ろうそくんもすてきな居場所を見つけ……。出版社…タリーズコーヒージャパン 分類…Eヒ

◇一般書

・南極日和

「南極日和」制作班 著
あなたにとって南極とは？南極で観測する人たちや、観測を支える人たちからのメッセージを紹介。南極観測についても解説します。BS朝日の番組を単行本化。出版社…実業之日本社 分類…402ナ

◇新書

・感情的にならない本

和田 秀樹 著
自分にも他人にも「機嫌のいい人」になるには？ ところを穏やかに保つために「感情的にならない」技術を、著者が体験的に得た方法や、精神医学の立場からの方法も交えて、さまざまな場面ごとに紹介する。出版社…新講社 分類…S141ワ

三和図書館

注目 企業人

～市内の企業を元気に支えるみんなを紹介～
「お客様に合わせて臨機応変に」

株式会社山水(ホテル山水)勤務 藤井 真衣子さん

人と接することが好きで、接客の仕事を多く経験してきたという藤井さん。現在のホテルに就職して2カ月。主にフロント業務を担当しています。

フロントは、お客様と最初に接する「ホテルの顔」とも言える存在。藤井さんは宿泊や宴席の予約受付、部屋の手配、チェックアウト時の精算などを受け持っています。「仕事を始めてまだ日が浅く、今は仕事を覚えることで精いっぱい」と話す藤井さん。フロント担当の先輩の背中を見てたくさんのことを学んでいます。「宴席などの予約受け付けでは、お客様のニーズに合った提案を心掛けていますが、まだまだ先輩たちのようなスムーズな対応は……」と。

「早く先輩たちのように臨機応変にお客様

対応ができるホテルウーマンになりたい。それが私の目標です」と目を輝かせた藤井さん。

休日は不定期ですが、都内に出かけるなど好きなことをして英気を養っています。

さあ、間もなく、いやもうすでにフロントでテキパキとお客様のニーズに対応する藤井スマイルが見られることでしょう。

■プロフィール

好きな観光地は京都。寺・神社の落ち着いた雰囲気が好きで、時間があればまた旅行したいとのこと。

26歳・横山町在住。



古河文化見聞録

江戸琳派と古河藩

俵屋宗達「風神雷神図屏風」、尾形光琳「燕子花図屏風」など、日本美術史上に燦然と輝く琳派の世界。欧米でも高い人気を誇る、雅できらびやかな印象の琳派は、古河の歴史にもその足跡を遺し、深い関わりを持っています。この、あまり知られていない、古河と琳派のつながりについて紹介することにいたします。

琳派の美術

江戸初期、京都で活躍した俵屋宗達(?～1641年頃)や本阿弥光悦(1558～1637年)を始祖とする琳派。平安時代のやまと絵をもとに、宗達が自由な発想で生み出した大胆で装飾的な造形感覚は、貴族文化の伝統を新たなかたちで復興させようとしていた京の公家や上層の町人たちに大いに受け入れられ、独自の芸術世界を展開していきます。

そもそも琳派とは、幕府御用絵師の狩野派や、宮廷絵所で活躍した土佐派などのように、世襲による流派ではありません。その代表格である絵師たちは、それぞれ異なる時代と境遇に生き、先人の作風に共感を覚え、私淑して学ぶというかたちで、その様式を受け継いでいきました。

宗達の没後約17年後、京都の裕福な呉服商に生まれた尾形光琳(1658～1716年)は、宗達の画風に魅せられ、その様式を学び取り入れるようになります。幼少から最新流行の着物の意匠などを目にする中で、鋭利な美的感覚を身につけた光琳は、宗達の画風をより洗練させ、明快なデザイン性を特徴とする、装飾的で豪華絢爛な琳派様式を大成しました。

ちなみに、琳派という名称は、光琳の「琳」の字に由来するものです。

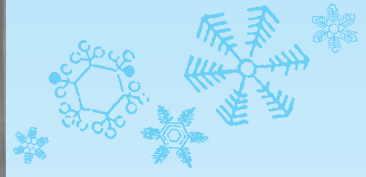
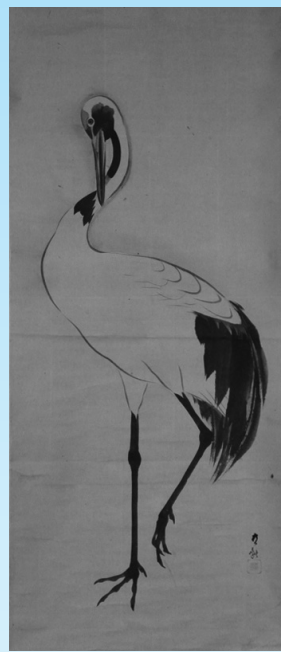
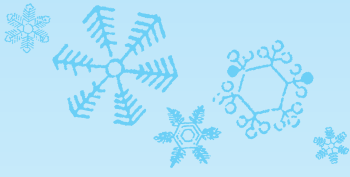
江戸琳派の祖・酒井抱一

ところで、光琳の亡き後、江戸の地で光琳を再評価し、光琳画風の再興を果たしたのが、光琳没後45年後に生まれた酒井抱一(1761～1828年)でした。姫路藩主酒井家の次男という名門の出自。この抱一からはじまる系譜がいわゆる「江戸琳派」といわれるものです。

抱一の兄である姫路藩主酒井忠以は、宗雅と称する多様な文芸に通じた殿様でした。茶道や能、和歌、俳諧、絵画などに造詣が深く、その兄の側にいた抱一も、若い頃から諸芸に親しみます。大田南畝など多くの文化人たちと交流し、絵画の才能も開花していきました。兄が急逝して数年後、抱一は酒井家の屋敷を出て、37歳で出家します。光琳に傾倒し、光琳画の名手となった抱一は、文化12(1815)年、光琳百年忌の法会や遺墨展など記念事業を開催、自他ともに認める光琳の継承者となります。琳派の伝統に、季節の情趣や写実性、江戸人らしい諧謔性を加味した、より情緒的で瀟洒な趣の新しい琳派がここに誕生したといつてよいでしょう。

抱一と古河藩土井家

さて、江戸琳派を確立した抱一は、古河藩との間に浅からぬ縁がありました。安永7(1778)年のこと、古河藩主土井家は姫路藩主酒井家に対して、抱一を仮養子に迎えたいと申し出ています。この件は不調となりま



市川其融「双鶴図」

作者の其融は江戸詰の古河藩士。抱一の高弟、鈴木其一に師事し、琳派の絵師としても活躍した。

すが、安永9(1780)年、再び土井家は仮養子に望み、これもまた不調。さらに、天明元(1781)年、またも土井家は養子縁組を依頼。じつに三度も頼みこみながら、結局その希望は叶えられませんでした。

このときの古河藩主は土井利厚〔利和〕(1759～1822年)。幕府老中をつとめ、国元の政治にも意を払うなど、土井家中興の祖と評された殿様でした。その一方、利厚の書状の中からは、天明3(1783)年7月上旬の浅間山噴火直後に、降灰による不作や被害を心配しながらも、売り出された中興名物茶入「青柳」に執着するなど、いささか度し難い趣味人としての利厚の一面がうかがえます。

酒井家と土井家は、養子縁組の話が出て不思議ではない家柄とはいえ、安永6(1777)年に古河藩主に就任して間もない利厚が、ほぼ同世代の抱一を養子にと切望したことの真相はわかりません。利厚が抱一の養

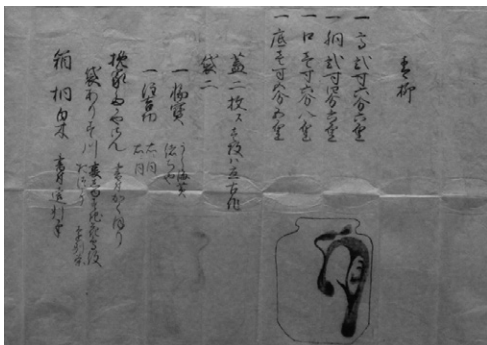


原羊遊齋「雪華文時絵印籠」
(国指定重要文化財)

父になることはありませんでしたが、趣味を共有する両者の親交はこれ以降も続きます。

その交流の一端を表しているのが、江戸時代後期を代表する、古河藩御用時絵師原羊遊齋の存在です。『鷹見泉石日記』には、古河藩が羊遊齋を時絵制作に従事させていたこと、その作品を藩からの贈答品として巧みに使用していたことなどが記されています。

羊遊齋は抱一の描いた下絵をもとに時絵作品を制作するようになり、これを契機に一躍時絵師としての名声を高めます。一方、抱一の画も、羊遊齋とのコラボレーションによって、調度や装身具のデザインに多く転用されるようになり、工芸分野に新境地を開きました。そして、この両者をコーディネートし、新境地に導いたのは、古河藩主土井利厚を筆頭とする古河藩関係者であったといっても、決して大げさではないことでしょう。



▲利厚が欲した茶入「青柳」の調書

古河歴史博物館学芸員 倉井直子

8月号は「健口生活」をテーマに、お口のお手入れの大切さをお伝えしました。

今回は、お口を健康に保つための方法を紹介します。

お口の健康を保つことで全身の状態がよくなる

よくかんで食べることは、認知症を予防し、お口の病気や口臭を防ぎます。

さらに、舌やほおなどの筋肉を鍛えると、飲み込む力を高め、食べ物を気管に飲み込むことで起こる肺炎(誤嚥性肺炎)も防げます。

毎日のお口のお手入れを習慣にしましょう。

実践！ 口腔のお手入れ

1. 毎食後に歯磨き

小さく、やわらかめの歯ブラシで磨きましょう。また、歯みがきのときに、歯ブラシで左右のほおの内側をマッサージしてみましょう。ほおの筋肉がほぐれます。ブクブクうがいでも、唇・ほお・舌の筋肉を鍛える効果があります。

2. 入れ歯のお手入れ

お口の中の炎症や細菌の繁殖、口臭を防ぐため、食後と就寝前に入れ歯の洗浄が大切です。洗うときに入れ歯を落として欠けたりすることを防ぐため、洗面器などに水を張

って、水を流しながら入れ歯専用の歯ブラシで洗いましょ

3. しっかりかんで食べる

しっかりかむと口や顔の筋肉がよく動き、その刺激で唾液がたくさん出ます。そのため飲み込みやすくなったり、顔の表情筋のトレーニングにもなり、元気な笑顔につながります。

また、かむことは脳を刺激し血液の循環も良くなります。

4. 口腔体操

食べ物をスムーズに飲み込むために舌の筋肉を鍛えましょう。舌を口の中で上下左右へ動かしたり、唇の周りをなめたりする運動です。慣れるまでは舌が結構疲れるのを実感できます。

5. 唾液腺マッサージ

お口の中を滑らかにするために、食事前にあごの下を親指で押したり、耳の下をマッサージしたりしましょう。唾液腺が刺激されることで唾液がたくさん出て、味を感じやすくなり、おいしく食事ができます。

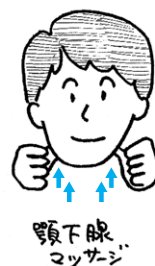
お口をきれいにしてい

毎日お食事をしたり、お話をしたり、表情を作ったり、気づかないうちにお口はたくさん働いています。

いつまでもおいしく食べて、いきいき元気に過ごすために、これからもお口のことを今以上に気にかけてみましょう。

高齢福祉課

唾液には「細菌の増殖を抑えて清潔に保つ」「消化を助ける」「味覚を感じやすくする」「発音・発声をしやすくする」など、さまざまな効果があります。



憩いのパークの魅力

公園内の石碑 「地名碑」とは？



▲御所沼の地名碑

まだまだ残暑が続く古河総合公園も、少しずつ秋の気配を感じるようになってきました。そんな季節の変わり目に、今回は園内にある石碑「地名碑」についてお話したいと思います。

総合公園を歩いてみると、ところどころに石碑があるのをご存じでしょうか？ この石碑、「地名碑」と呼ばれているもので、表面には地名、裏面にはその由来やその場所のかつての字名、故事、デザイン趣向などが刻まれている、その数なんと30カ所もあるのです。

そのうちの、いくつかをご紹介します。

まず、公園の西側に「トラエモン道」があります。これは、当時の牧野地側小字名を借りて名付けられているそうです。

そして、公園の東側にあるのが「目洗弁天池」。虚空蔵

様下にあるこの池の水で目をすすげば、眼病が癒え、平癒の暁にはうなぎを放して謝したと伝えられています。

このほかにも、管理棟前の「古河公方広場 二入川」や御所沼の南側にある「ホツケ田」「かわうそ橋」「芋ころがし坂」「仙人池」など変わった地名や由来などがたくさんあります。

このように地名とは、歴史や環境と人(の暮らし)とのからみあいの中から生まれた文化といえるかもしれません。

総合公園へお越しの際は、ぜひ「地名碑」を巡ってみてください。地名とその風景を見ることで、いつもとは違う総合公園が楽しめるかもしれません。詳しい場所を知りたい人は、管理棟に「地名碑マップ」がありますのでお立ち寄りください。

【問】古河総合公園管理棟
☎47-1129



▲何か出てきそうな気配が……



▲表面には地名、裏面には由来等が刻まれています

表紙写真



今月の表紙写真は、さまざまな夏のイベントを詰め込んでみました。「花火大会」「悪戸新田獅子舞」「盆踊り大会」「高校女子ソフトボールフェスティバル」「夢あんどん」……。楽しいイベントが盛りだくさんの夏でした。

今年も暑かった夏。強い日差しの中で取材で、腕時計の痕がくっきり残るほど日焼けをしてしまいました。これもまた、夏の思い出の一つですね。

残る日焼けの痕を眺めつつ、スポーツの秋・芸術の秋へと季節の移り変わりを楽しみにしています。

寄付



古河市電設業協会(齋藤廣治会長)より、市内公共施設に設置するAED(自動体外式除細動器)1基の寄付。

古河市データ

人口



(8月1日現在) 住民基本台帳から
総人口… 145,319人 (- 4)
男……………73,043人 (+ 64)
女……………72,276人 (- 68)
世帯数…57,977世帯 (+ 54)
() 内は前月比

わが家のアイドル



坂本 ^{あいか}愛花ちゃん (1歳7カ月・諸川)

4人きょうだいの末っ子で、お姉ちゃんお兄ちゃんと一緒に元気に遊んでいる、とても活発な女の子♥好き嫌みまもといなく何でもモリモリ食べるのが愛花の元気の源！これからも皆からのたくさんの愛で元気に育って、皆にたくさんの愛を与えてね♥(父：吉隆 母：絵美)

今月の料理

もやしとちくわのごま酢和え
＜高血圧予防食＞ ※4人分



- ①モヤシ1袋はひげ根を取り、よく洗う。たっぷりの熱湯でさっと茹で、ざるに上げて冷ます。
- ②ちくわ2本は縦半分に切って、端から斜め薄切りにする。
- ③適量の三つ葉を2cmの長さに切る。
- ④ニンジン1/4本は3～4cmの長さで千切りにして、さっと茹でる。
- ⑤すり鉢に白いりごま大さじ1を入れて軽くすり、酢大さじ2、しょうゆ小さじ1、砂糖大さじ1、だし汁大さじ1を加えてすり混ぜる。
- ⑥①～④を⑤で和え、青じそ(4枚)を敷いた器に盛る。

(1人分)

エネルギー=59kcal
タンパク質=3.8g
脂質=1.6g
カルシウム=43mg
食塩相当量=0.6g



(食生活改善推進協議会)



日々奮闘!

子育てアドバイス

子どもを紫外線から守りましょう



●**服装**
過度な肌の露出がない服にしましょう。また、つばの広い帽子をかぶると顔に当たる紫外線の約

●**外出時間**
午前10時から午後2時の時間帯が一番紫外線量が多いといわれています。散歩など外での活動はこの時間帯を避け、朝や夕方

●**日焼け止め**
過度の紫外線を浴びることは、健康に悪影響を及ぼすこともあるので、この時期もしっかりと紫外線対策を行いましょう。

●**日よけ**
まだまだ暑い日が続きますね。日本では、4月から9月の間に1年間のおおよそ70～80%の紫外線が照射されるといわれています。子どもは、外遊びなど屋外での活動が多いため紫外線を浴びる機会が多く、大人に比べて肌の防衛力も弱いので、紫外線の影響を受けやすいといわれています。

●**ベビーカー**
ベビーカーに屋根を付けたら、お母さんが日傘をさして日陰にいられるように心がけましょう。また、日なたで遊ぶ場合は、遊びの途中で日陰で休憩しましょう。

●**健康づくり課**
外気浴などをするのは子どもの体内リズムを整えます。また、屋外活動は子どもの発達にとって、とても大切な活動です。紫外線対策をしっかりと行い、たくさん外遊びをしましょう。

●**健康づくり課**
外気浴などをするのは子どもの体内リズムを整えます。また、屋外活動は子どもの発達にとって、とても大切な活動です。紫外線対策をしっかりと行い、たくさん外遊びをしましょう。

●**健康づくり課**
外気浴などをするのは子どもの体内リズムを整えます。また、屋外活動は子どもの発達にとって、とても大切な活動です。紫外線対策をしっかりと行い、たくさん外遊びをしましょう。

●**健康づくり課**
外気浴などをするのは子どもの体内リズムを整えます。また、屋外活動は子どもの発達にとって、とても大切な活動です。紫外線対策をしっかりと行い、たくさん外遊びをしましょう。

●**健康づくり課**
外気浴などをするのは子どもの体内リズムを整えます。また、屋外活動は子どもの発達にとって、とても大切な活動です。紫外線対策をしっかりと行い、たくさん外遊びをしましょう。

平成26年9月1日発行

●発行所／〒306-0291 茨城県古河市下大野2248 古河市役所
●編集／秘書広報課 ●ホームページ／<http://www.city.furukawa.lg.jp/>

☎0280092311